

II. 平成 11 年度 日本地域学会総会

標記総会が、去る平成 11 年 10 月 2 日(土) 13:20 より、熊本大学黒髪北キャンパス 法学部棟 2F(A1 教室)で行なわれました。まず、はじめに日本地域学会会長(福岡克也 立正大学 教授)挨拶の後、外国からの来賓代表として、前世界地域学会会長 Peter W.J. Batey 氏, Liverpool 大学教授よりご挨拶戴きました。この後、福岡会長を議長として下記のとおり審議と報告が行なわれました。

議題

1) 新入会員・退会会員の承認

これに関して氷鉋総務担当常任理事より報告があり、個人会員 77 名の入会および個人会員 25 名と法人会員 1 団体の退会を承認。

2) 平成 10 年度収支決算の報告

これに関して加賀屋財務担当常任理事より報告がありついで、臼井監事より決算が適正であることが報告され、異議なく承認。

3) 平成 11 年年度収支予算

これに関して加賀屋財務担当常任理事より予算の説明があり、異議なくこれを承認。

4) 第 37 回(2000 年)年次大会の開催地、開催校の承認

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、次期大会の開催校を東北学院大学(仙台)、日時を 2000 年 11 月 3・4 日とする事が提案され、異議なく承認。

5) 第 38 回(2001 年)年次大会の開催地、開催校の取り扱いの承認

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、事務局へ一任する事が提案され、異議なく承認。

6) 国際地域学会(RSAI)環太平洋地域学会機構(PRSCO)会則の批准

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、経緯が報告され、批准することを異議なく承認。

7) 会則の改正

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、事務局長の交代に伴い会則の事務局所在地に関する記述を現状に合わせる様、会則を改正することが提案され、異議なく承認。

報告

1 新入会員キャンペーンの継続

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、引き続き勧誘キャンペーンを継続する事が報告された。

2) 『地域学研究(第 30 巻)』編集委員会の構成

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、規程に従い理事および座長で構成される事が報告された。

3) 日本地域学会『地域学研究』審査規程

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、規程として明文化されたことが報告された。

4) 日本地域学会『地域学研究』執筆要項

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、執筆要項の改訂が報告された。

5) 『地域学研究』第 29 巻の編集

これに関して河上 No.1 編集委員長より、No.1 に 40 編以上の掲載候補が集まったことおよび一部がまだ査読中であることから No.1 と No.3 に分割することが報告された。

6) *Studies in Regional Science* Vol.28, No.2 および Vol.29, No.2 の編集

これに関して多和田編集委員より、Vol.28 は 5 編を収録し配布中であること、Vol.29 は 4 編を査読中であることが報告された。

7) RSAI の動向

これに関して河野理事より報告があった。

8) PRSCO の動向

これに関して氷鉋総務担当常任理事より報告があった。

この後、1999 年度第 8 回学会賞授与式が執り行われました。藤岡選考委員長より選考経過報告の後、福岡会長より下記会員に各賞が授与され、受賞者よりご挨拶いただき、総会は無事閉会しました。

功績賞(第 10 号) 木村吉男

論文賞(第 9 号) 徳永澄憲「A Residential Land Use Model with a General Landownership: Existence and Uniqueness of Equilibrium」

奨励賞(第 9 号) 森島隆晴「A Wealth Preference-

Related Explanation for Creation and Collapse of a Rational Asset Bubble in the Land Market」

奨励賞 (第 10 号) 川村和美「Optimum Transportation Program for Northeast China Using Tumen Area Sea Ports: An Assessment of International Cooperation Based on the Spirit of Le Chatelier Principle」